
友の会通信

洋学の歴史を楽しく学ぶ
津山洋学資料館友の会

2019 September No.3



兵庫県指定文化財 池田草庵の青谿書院を見学（2ページに関連記事）

CONTENS

第39回研修バス旅行報告	
但馬路の史跡を訪ねて	2
友の会のあゆみ ①	3
蘭学・洋学史跡探訪 ②	4
平成31年度総会・植栽ボランティア活動実施 トピックス	
編集後記	

但馬路の史跡を訪ねて

会員 山下まち子

6月9日(日)、友の会研修バス旅行に参加しました。今回の見所は「但馬聖人」と呼ばれ多くの弟子を育てた学者、池田草庵の私塾「青谿書院」の見学と「但馬の小京都」城下町出石めぐりです。

「青谿書院」では、池田草庵先生の生い立ち等をわかりやすい言葉と絵にまとめた



青谿書院の前で記念撮影

紙芝居を見せて頂きました。10歳で母を、12歳で父を亡くし満福寺にあずけられ仏道修行を行い、やがて寺一番の高弟と認められるようになったが、18歳の時、儒学を志す決心をして寺を飛び出してしまふ：厳しい状況も分かりやすく説明してあり、勉学に対する覚悟が感じられる紙芝居でした。儒学者・相馬九方の講義を受けて学び、修業ののち京都で塾を開きますが、郷里の人々からの依頼によって31歳の時帰郷し若者の教育をはじめました。そして35歳で学舎を建て「青谿書院」と名づけます。草庵先生は朱子学と陽明学を融合した学説に、さらに「慎独」という修養を重んじた教え

を説き、673人の人材を育成したそうです。まだ幼い門人達が、草庵先生と共同生活を行い、知識と実行力を兼ね備えた人間に成長していったのかと思うと涙が出そうになりました。また、消灯後に勉強するために使ったロウソクの焦げ跡を見ました。寝る間も惜しんで勉強したくなるような指導法とはどんなものだったのでしょうか。昼食は楽しみにしていた「そば定食」をおいしく頂きました。食事の後は、城下をガイドさんとまち歩きをしました。自由散策時間も有り、本当に有意義な研修旅行になりました。有難うございました。



青谿書院資料館(上) 出石町の桂小五郎潜居跡(下)

見学コース

- ① 青谿書院・資料館（兵庫県養父市）⇒
- ② 出石城下ガーデンで昼食（豊岡市出石町）⇒
- ③ 出石城下まち歩き（出石城跡・出石家老屋敷・辰鼓楼・出石史料館・桂小五郎潜居跡・川崎尚之助生家跡）



小林圭子編集委員と渡部紀子編集委員が、
下山純正顧問にお話をお聞きました。

2021年 友の会創立40周年へ 未来に向けて記録に残しておきたい ～あんな出来事・こんな出来事～

友の会のあゆみ ①

津山洋学資料館が開館したのは昭和53年3月のこと。その3年後に創立した友の会は、再来年創立40周年を迎えます。創立当時のことを知らない入会10年目の私たちが、発足から現在まで友の会を導いてきた下山顧問に、友の会の歴史についてお伺いしました。

小林編集委員 まず、友の会発足のいきさつを教えてください。

下山顧問 洋学資料館が開館した翌々年、当時館長だった木村岩治先生に、社会教育課から「市民大学講座で洋学について講義していただけないか」という要望がありました。「じゃあ、西征紀行でもやりましょうか」とおっしゃって、箕作阮甫の対ロシア交渉時の長崎往復の日記を解読する講座を2年程担当されました。木村先生はとても人徳のある方でファンが多く、講座が終わる頃に「このまま終わってしまうのはもったいない。もっと勉強がしたい」という声があがったんです。それで「何か、洋学を勉強できるような会を作れないか」となったわけです。

渡部編集委員 当時、下山顧問は芸員ですね。木村先生から相談されたのですか？

下山 木村先生のご性格からして、私に相談するような形で話される時は、先生の腹の中ではもうお決りになっているんです。だから私は「結構なことではないでしょうか」と答えつつ、今でも大変なのに、まだ仕事が増えそうと内心は思ったりしましたね。

渡部 それからどうしたんですか？

下山 それで「洋学資料館友の会」という会を作って活動をしようという決めで、会員募集を始めたわけですね。

小林 何人位集まったんですか？

下山 講座自体は50人くらいのものでしたが、会員は予想に反して200人くらい集まりました。

小林 正式な発足は何年ですか？

下山 昭和56年です。当時の美作教育会館のホールで発足式と記念講演会を開催したのが始まりです。

小林 発足準備の時に大変だったことはありますか？

下山 「友の会」は、県内の博物館の外郭団体としては草分け的な存在でした。木村先生から「会である以上は、会則を作りなさい」と指示されて「さてどうしようか」と悩みましたね。

渡部 会則は、顧問が一人で作られたんですか？

下山 そうです。みなさまから色々ご指導をいただきながら何とか作りました。事務局は当然洋学資料館に置き、総会で役員を選出してスタートしたんですよ。

小林 そんなふうにして友の会は発足したんですね。

下山 とにかく「楽しく洋学を学ば

う」というのが大切なことで、これは友の会のモットーですよ。楽しくなくちゃいけない。苦痛では続かないですからね。

小林 発足当時の苦労は？

下山 発足当時は学校を退職された先生やお医者さんが会員に多く、私はまだ勤めて2、3年ですからね。右も左も分からない。まあ、とにかく大変でした。それで鍛えられたわけです。いい勉強になりましたね。

渡部 友の会は再来年40周年ですね。

下山 そうですね。新館開館時には会員が420名という県内でも屈指の会に育ちましたね。昭和56年3月に発足して、9月には神戸に研修旅行に行きました。その後、年に1回の総会とバス旅行。史跡見学会は、昭和60年から始めています。これが私にとって、非常に張り合いになりました。木村先生が友の会を作ってくれたこと、その後の私の洋学資料館人生は豊かなものになったと思います。
小林・渡部 ありがとうございます。その後の友の会は、色々なソフト事業を展開していきますよね。そのエピソードは次回に教えてください。楽しみにしています。

蘭学・洋学
史跡探訪

②

京都の眞作阮甫

(京都府京都市)

会員 松浦信輝

今日は、阮甫が医術を学んだ京都の史跡を訪ねて来ました。

文化13年(1816)、18歳となった阮甫は、京都の漢方医竹中文輔(南峰)のもとで3年間の修業を行いました。文輔は「万病一毒説」を唱えた吉益東洞の弟子の和田泰純(東郭)に学びました。のちに蘭方医となる阮甫ですが、そういう意味では漢方大家の東洞の曾孫弟子に当ります。

竹中文輔の京都での居宅は東洞院錦小路北とあり、有名な錦市場の通りです。買い物客で込み合う市場のアーケードが途切れた先が住居跡となります。錦市場を歩く阮甫の姿を思い浮かべてみました。

さらに師である竹中文輔の墓にも参りました。墓は京都東山の鳥辺山と呼ばれるところにあり、五条大橋から五条東山へ、大谷本廟横の細い坂を旧延年寺墓地まで10分程登ります。道左手に「南峰竹中先生墓」があります。墓前で自己紹介し、阮甫の跡をたどって来ましたと申し上げました。そこから10メートルほど手前には竹中文輔の師である和田泰純の墓もあり、あわせて参らせていただくことができました。



竹中文輔(南峰)の墓

アクセス
竹中文輔旧宅跡・京阪祇園
四条駅から西北へ錦市場
徒歩で約15分
墓地・京阪清水五条駅から
東へ鳥辺山旧延年寺墓地
徒歩で約20分
参考文献 杉立義一『増補
版 京の医史跡探訪』思文
閣、1991年

総会報告

4月21日(日)、平成31(令和元)

年度の友の会総会を開催しました。平成30年度の事業報告・決算・監査報告のあと、昨年からは始まった植栽ボランティア活動のための事業費を新たに盛り込んだ31年度の予算・事業案を審議、承認いただきました。

植栽ボランティア活動実施



昨年度から有志の皆さんが行ってくださっている植栽ボランティア活動、今年度の第1回は6月23日(日)に実施しました。

次回は10月27日

(日)15時からを予定しています。ご都合のつく方はご参加お願いします。

トピックス



『徳川日本の洋学者たち』
下山純正 著 発行
東京堂出版 2,200円(税抜)

下山純正顧問が長年山陽新聞に連載した「美作洋学あれこれ」「洋学浪漫」が一冊にまとまりました! 全国の書店の他、友の会でも委託販売していますので、お問い合わせください。

編集後記

令和に改元され気持ちも新たにになりました。「友の会通信」第3号をお届けできることをうれしく思います。今年の夏も猛暑でしたが、夕方になると秋の虫の大合唱が聞こえる季節となりました。年に2回の植栽ボランティア活動により、菓草の小径や中庭が少しずつですが、変化していることにお気づきでしょうか?

「友の会のあゆみ」の連載のために、下山顧問から貴重なお話を伺いました。次回も楽しみにしててください。創立40周年にむけてひとりでも多くの方に資料館や友の会を知っていただけるような活動ができたらと思っています。

(K)

津山洋学資料館友の会通信

第3号

令和元年9月
編集・発行/
津山洋学資料館友の会
事務局〒708-0833
津山市西新町5
津山洋学資料館内
☎0868-23-3324